



MatriMix (511)で包埋培養した細胞の回収方法

ゲルの容量や細胞によって条件が変わるため、適宜濃度や反応時間を調整して下さい。

以下は、12-well plate を用いて 200 μ L のゲルで培養した場合の例になります。

1. 培地を除去して、ゲルを PBS で洗浄する。
2. 0.5 mg/mL Brightase-C (Nippi) を 1 ウェルあたり 1 mL 添加する。
※Brightase-C の調製方法は、製品添付の取扱説明書をご覧ください。
※Brightase-C は 2 mM CaCl₂ (+) PBS で希釈して下さい。
3. 37°C で 15 – 30 分間処理する。
※適宜ゲルの様子を観察して、消化が不十分な場合は反応時間を延ばして下さい。
4. 細胞を遠心回収する。
5. 0.25% Trypsin/EDTA を適量添加する。
※回収チューブや細胞の種類に応じて、Trypsin 濃度や液量を調整して下さい。
※細胞塊での回収の場合は、工程 5 – 8. は不要です。
6. 37°C で 3 分間処理する。
7. FBS(+)培地または Trypsin 中和液を適量添加して、ピペッティングする。
8. 細胞を遠心回収する。